

千代田学園同窓会ニュース

第4号 2007年9月12日

発行: 千代田学園同窓会

〒111-0031 台東区千束 2-4-6

TEL 03-3973-6111 FAX 03-3873-6152

<http://www.chiyoda-gakuen.ac.jp/>

e-mail: chiyoda_dousoukai@yahoo.co.jp

平成 19 年度定期総会開催!

去る7月24日(火)に、平成19年度総会が母校にて開催されました。結成以来第三回目になります。

第一部は午後6時40分より開始。同窓会事務局より開会の辞。続いて同窓会を代表して挨拶された白鳥会長代行は学園の置かれた厳しい状況をふまえながら「少しずつでも復活に近づきたい」との同窓生の思いを端的に述べられました。参加者一同は胸を熱くしてこの言葉を受け止めました。

続いて西村幹事を議長に選出して議事に入りました。

第一号議案として平成18年度事業報告、同決算報告、同会計監査報告。第二号議案として平成19年度事業計画案、同予算が各担当者より提起。いずれも原案通り満場一致で承認されました。

この中で、次回第四回「恩師を囲む会」(芸術)については学園の現局面との関係で課程を超えて呼びかけることを確認しました。またわが同窓会に続き千代田学園韓国同窓会からも東京都知事に提出された再建協力要請書が披露されました。

続いて総会来賓として学園理事長より現状報告を兼ねたご挨拶をいただきました。

最後に第三号議案の役員改選に移り、今期退任した初代石田会長に代わり芸術課程出身の白鳥勝久さんが第二代会長に選出されました。役員構成について活発な意見交換による当初案修正を経て、より強力な新役員体制を確立することができました。新年度役員は下記に掲載しました。

第二部は、喫茶はなで恒例の懇親会。意気投合した会員たちの熱気あふれる意見交換の場となり、盛況裡に第三回総会を終了することができました。

第三期役員

会 長 (新)	白鳥 勝久	千代田テレビ電子学校 (放送芸術科)
副 会 長	小久保徳子	千代田電算機学院
同	大室 信幸	千代田テレビ電子学校
事務局長	新井 清	千代田電算機学院
会 計	宮内 芳	千代田テレビ電子学校
幹 事	関田 文吉	千代田テレビ技術学校
同	斉藤 潤一	千代田工科芸術専門学校 (デザイン専門課程)
同	田中 亘	千代田工科芸術専門学校 (工業専門課程)
同 (新)	加藤 たけ実	千代田ビジネス専門学校
同	奥山 正弘	千代田ビジネス専門学校
同 (新)	馬場 義夫	千代田工科芸術専門学校 (工業専門課程)
監 査	中田 正行	千代田テレビ電子学校
同	西村 公男	千代田電算機学院
顧 問	魚木 五夫	

千代田工科芸術専門学校 / 千代田
海洋科学ビジネス専門学校 校長

新会長挨拶

会員の皆様におかれては、お元気にお過ごしのことと存じます。

さて、このたび千代田学園同窓会会長になりました、49期放送芸術科卒業の白鳥勝久です。若輩者ですが、これからの千代田学園同窓会が、ますます発展していく事を願い2代目会長としてよろしくお願い致します。

千代田学園の芸術専門課程の職員として、最後の学生を卒業させる為に努力をした日々から、早3年半が過ぎ去りました。今母校の再建を願いながら、日々仕事に追い立てられています。

千代田学園を御卒業された皆様におかれても、皆母校の事が昨日の事の様に思い出されることと思います。

発足をして間もない同窓会ですが、これからの千代田学園同窓会により多くの会員が入会され、会員相互の憩いの場となることを心より希望します。

会長 白鳥勝久

【千代田学園同窓会事務局交流会レポート】

1989 年度放送芸術科卒 杉山貴久

先日、7月28日に行われた交流会に参加しましたので、ご報告したいと思います。

そもそも、この交流会を知ったキッカケは一通の封書からでした。7月23日に行われた第3回総会に出席出来なかった私の所へ、総会の報告書が届いたのですが、この中の紙の一枚に「隅田川の花火が学園のビルから見えるのかどうか確かめる・・・」と書かれていました。この交流会のある28日は、仕事が入っていたので行くつもりは無かったのですが、思いのほか仕事の内容が行き詰まり、気分転換を兼ねて「花火でも見るかなあ～」と、ものすごく不純な動機で、学園まで出向くことにしました。(^^;



千束へ移転した建物へ行くのは初めてで「どんな風に見えるのだろうか?」と思いつつ学園を訪ねました。事務局の伊藤さんに奥の部屋へ通され、鉄板焼きの用意がされている部屋に入ると、窓の外では、近所の方々が屋上に出ています。隅田川の花火が学園からどんな風に見えるのか、期待が高まるのですが、事務局の伊藤さんと西村さんが「テレビもあるから大丈夫・・・何チャンネルだったけねえ～」などと言う会話をしています・・・ん?テレビ?なんでだろう?と、思いましたが、その時には特に気にしませんでした。(^^;



辺りが暗くなり、いよいよ花火の時間です。私たちもビールで乾杯し、鉄板焼きのスタートです。7時になり花火大会が始まったのですが・・・まったく花火が見えません。そうなんです・・・学園のビルの窓があるのは北側、花火会場の隅田川は学園の東側、学園のビルの東側は・・・壁です。そこでようやく、先ほど「テレビもあるよ」と言っていた意味がわかりました。(笑)

とは言うものの、東側に小さなベランダがあり、藤岡理事長が「ここから見えるかもしれない」と、小さなベランダに置かれた植木をかき分け、身を乗り出して必死に花火を見ようとしています。部屋の中では「12チャンネルだよ、12チャンネル!」と、こちらもテレビで花火を見ようと頑張っています。そのうちにベランダから「あっ!少しだけ見える見える!」テレビの方でも高橋英樹が登場し、無事に番組を見る事が出来、かなり強引ではあるものの「これで一応花火が見られたという事が現認出来た」と伊藤さんは満足の様子です。「花火が見えるかどうかはともかく、まあ～それを理由にみんなで飲みましょう!という会ですから、今夜はとりあえず飲みましょうか!」とホンネがチラリ。(^^; 結局伊藤さんの言うとおり、いざ、食べ物が始めると、花火そこのけで食べ出し、ビールの空き缶も2本が3本、3本が4本と、どんどん増えていき、みんなで楽しい夜を過ごしました。この夜は女性陣も男性陣も実に食欲旺盛だったと思いました。



ここまでの話の流れだと「なんだよ、結局花火は見えなかったんだらう?」と思われるかもしれませんが、実は完璧でないものの、見る事は出来ました。学園のビルは諸事情により屋上への扉が施錠されていて、屋上へ出る事は出来ませんが、その屋上まで登る段階の途中で花火を見る事が出来ます。第一会場の打ち上げ花火は浅草ビューホテル、第二会場の花火は隣のビルで一部欠けますが、花火の雰囲気は十分に味わえました。会員の石渡さんが、その様子を写真に撮っていたので、どんな花火が写っているのか、とても楽しみです。



以前のエコビルの様に見ることは出来ませんでしたが、それでも、お酒のつまみには十分の花火だったと思います。一つ残念なのは・・・鉄板焼きのメの焼きそばを、もうちょっと食べたかった事でしょうか。来年は“焼きそばの量を増やしたいなあ～”という願いをしつつ、レポートを終わりにしたいと思います。



<写真>石渡さん撮影/上から順に 受付 会場 ベランダの花火 屋上の花火 屋上付近

会員交流コーナー

- 今回お二人をご紹介します -

・・・今号から会員の方の学生時代の思い出や現在の活躍を紹介するコーナーを設けました。皆様の投稿をお待ちします。形式自由。原稿 800 字程度を目安に多くても少なくても結構です。同窓会あてメールかお手紙でお送りください・・・

新井清さんのお便り

私は昭和 4 5 年 4 月～昭和 4 7 年 3 月の間、千代田電算機学院ハードウェア本科第 3 4 期でお世話になりました新井 清です。当時は上野の千代田学園が蒲田の・・・と、二大勢力で競っていた時代です。まだ大學でもコンピューター関係は少ない時代。なにもわからずにいると受付の人が”男ならハード科です”との一声で入学しました。

電算のハード科だけでも二クラス 5 0 0 名以上いました。国産メーカーの電算機がそろっていましたがハード科で使えるのは CEC555 のみ。クラブの部長をさせていただきました。当時は広瀬盛衛学園長の教育が厳しく、また時計のある電車から見えるあの校舎が完成したときでした。上野駅での夜間奉仕も思い出です。

卒業アルバムを手に当時を思い出しています。こんなやつもいたな！元気にしているかな！年賀状だけが続いている人もいます。同窓会に同じクラスだった新井城太郎君にも参加してもらいました。

昨秋の第一回 恩師を囲む会では加藤武雄先生と卒業以来約 3 3 年ぶりにお会いできました。

当目を覚えてくださり感激でした。

私は大貫光男君と共に小さなソフトウェア会社に入社しました。

今は労働者派遣が厳しい中、1 2 月に面接に行くときすぐ働いてということになりました。昼間は学校にそして夕方 17 時から 2 2 時の製紙会社のオペレーションです。土曜日も昼間から仕事でした。四国と関西の工場から送られてくる伝送テープと東京のデータターをまとめ売上日報や在庫日報の打ち出し、その後四国と関西の工場に伝送テープを送り返すものでした。

銀座のど真ん中、今では考えられないことですが昭和天皇が召し上がったというおすしを腹いっぱい食べなさいとか銀座のクラブへの豪遊、また工場見学ということで四国へのリッチな船旅など新入社員なのに楽しい思い出につながりました。(つづく)

マッキー・ワダさんのお便り(在ブラジル)・・・昨年の第二回総会に寄せて。会場配布しました・・・

Chiyoda Gakuen dousoukai no donata ka zonzimasenga, renraku taihen arigatougozaimasita.
Watashi no namaewa Macky Wada to mousimasu, nambei Burazil ni kite 47 nen ni narimasu, wakayama shi umaremasita,
1959 nen 10 gatsu Burazil e Ijuusimasita.

1971 nen kara 75 nen no 9 gatsu made asikake 5 nenkan nihonde shashin no benkyou wo simasita.
Chiyoda Gakuen niwa 1972 nen kara 74 nen no 4 gatsu made Yakan Houdoushashimbu de manabimashita.
Nyuugakuji niwa takusan ita gakuyuumo, sotsugyouji niwa honno sumeini nari taihen zannen desita.
Sate, 6 gatsu 24ka ni mata dousoukai ga aru tonosirasewo itadakimasitaga, nanise nihonno hantaigawa
desukara ikemasennode douzoyorosiku.

Kai ni tsudowareru minasamaniwa zehi yoroshiku otsutae kudasai.
Itiou nihongono yomikakiwa dokugakude (Mangade) oboemashita node daijoubudesu.
Watasino computer niwa nihongoga arimasennode romaji de kakimasu.
Igo douzo yoroshiku onegai itasimasu.

San Paulo, 2006 nen 6 gatsu 20 ka

Macky Akira Wada

(ローマ字訳)

千代田学園同窓会のどなたか 存じませんが、連絡 大変ありがとうございました。

私の名前は マッキー ワダ と申します。南米ブラジルに来て 47 年になります。

和歌山市に生まれました。1 9 5 9 (昭和 34) 年 10 月にブラジルへ移住しました。

1 9 7 1 (昭和 4 6) 年から 75 (同 5 0) 年の 9 月まで、あしかけ 5 年間 日本で写真の勉強をしました。

千代田学園には 1 9 7 2 (昭和 4 7) 年から 7 4 (同 4 9) 年の 4 月まで、夜間の報道写真部で学びました。

入学時には、たくさんいた学級も、卒業時には ほんの数名になり 大変残念でした。

6 月 24 日土曜日に また 同窓会があるとの知らせを頂きましたが、なにせ 日本の反対側ですから、いけませんので どうぞよろしく。

会に集われる皆様には ぜひよろしくお伝え下さい。

一応 日本語の読み書きは独学で(漫画で)覚えたので 大丈夫です。

私のコンピューターには、日本語がありませんので、ローマ字で書きます。

以後、どうぞよろしくお願いたします。

サンパウロ、2006 年 6 月 20 日

マッキー アキラ ワダ

同窓会特記・・主な活動・・

H18. 6. 24(土) 平成 18 年度定期総会開催

18. 7. 29(土) 屋上で墨田の花火大会を見る会

18. 9. 26(火) 東京都私立学部要請 (再建問題)
同窓会東京都知事宛再建協力要請書提出

18.10.14(土) 異業種交流会

18.10.26(木) 第一回「恩師を囲む会」(電算)
- 加藤武雄先生を囲む会 -

18.11 ~ 末 学園バザー開催

18.12. 1 (金) 学内喫茶はな「閉店 (移転) 交流会」

18.12.13(水) 学園移転作業開始 (~2月)

主な行事はホームページで紹介しています。

<http://www.chiyoda-gakuen.ac.jp/>

H19. 1. 31(水) 元理事長U氏に対する高裁判決
学園勝訴 (後確定)

19. 3. 28(水) 第二回「恩師を囲む会」(ビジネス)
- 金森先生を囲む会 -

19. 4. 19(木) 元学園介入者 (元顧問) Y氏に対する地裁判決
学園勝訴

19. 5. 23(月) 学園東京都要請 (再建問題)
千代田学園の韓国同窓会有志代表都知事宛要請書提出

19. 6. 11(月) 平成 19 年度定期総会

19. 7. 6 (木) 第三回「恩師を囲む会」(工業系) 同窓交流会

19. 7. 24(土) 平成 19 年度会総会(第三回総会)

19. 7. 28(土) 事務局との交流会&納涼会
(墨田川の花火が学園から見えるかを確認する会)

9 . 2 5 (火) 午後 6 時 3 0 分より

第四回 「恩師を囲む会」(芸術) を開催します! 他の課程もご参加を!

来る 2 5 日の第四回恩師を囲む会を下記の通り開催します。

今回は芸術課程です。白鳥先生他の方々をお迎えします。友人知人にもお知らせいただき、多数ご参加下さい。特に今回は、学園の問題が重要な段階を迎えておりますので、現状報告を含めて進行させていただきます。趣旨をご理解いただき、ぜひ他の課程からも多くの方々のご参加をお願いする次第です。

なお、当日の準備の都合上、お早めに参加・お問い合わせなどを事務局までご連絡いただければ幸いです。

連絡先 / e-mail chiyoda_dousoukai@yahoo.co.jp 電話番号 03-3873-6111

記

1 . 日 時 9月25日(火) 午後6時30分より

2 . 会 場 千代田学園内 (東京都台東区千束2 - 4 - 6) 金竜小そば / 学園ホームページより地図参照

同窓会にお知り合いの方をご紹介します

千代田学園同窓会は平成 17 年 1 0 月に初めて発足しました。

本年創立 5 0 周年を迎える学園において、しかも、究極の学園困難状況の中ではじめて発足したことは運命的なことです。しかし、創立以来正規学科だけで 6 万名の卒業生を世に送り出しましたが、その後の関係は、これまで同窓会がなかったため現住所など連絡網が更新整備されることがなく、ほとんど途切れていたのが現実です。

わずかにサークル、クラス会などをベースにした有志の集まりや、友人知人恩師との個人的関係、また学園にとっては卒業後に転職・ピザ取得・受験などさまざまな理由で諸証明書発行申請や恩師訪問で来校した卒業生との偶然の再会によって現在の連絡先がわかる人がいる、という状態でした。

他校では同窓会があるだけでなく、社会で活躍する先輩たちとの交流や、生涯教育などリカレント教育という経営的観点からも卒業生を積極的に組織している有名校が多数あると聞き及びます。

逆に言えば、これまでの状態は私たち同窓生としても、せっかく恩師先輩方が築いた伝統ある学園 5 0 年の歴史を活用できず、大先輩たちが社会で活躍する恩恵やその指導を得る機会を少なくしていたことに他なりません。また学園の苦境に際しても、その時々私たちが何らの有効な対応がとれず、それどころかほとんどの方が現状さえ知らずに平成 17 年 1 0 月を迎えたことを意味しました。学園と卒業生にとってこれほど不幸で、人生上の非効率はありません。

しかし、いまようやく同窓会が結成されました! 韓国でも同窓会が活動をしています。海外の留学生もいます。他校に遅れた時間を取り戻し、学園 5 0 周年対応論議を深めてともによい形を目指したいと思います。白鳥会長が述べられた「少しずつでも復活に近づきたい」は共通の願いです。思えば、私たちが学び集った日々に対する各種書類の法定保存期限等を上回る証明書についても、今も発行願えるのは幾多の困難に耐えてなお学園が存在するからこそ可能なのです。

いまこそ親睦交流とみんなの願いの実現のために、多くの方に参加していただけるようご協力をお願いします。

会員登録・・・所定用紙 / 同窓会ホームページに申し込みフォーム掲載 <http://www.chiyoda-gakuen.ac.jp/format.txt>

会 費・・・年会費 2 0 0 0 円 / 登録時に納入(登録年納入扱)、以後毎総会期日までに年 1 回納入(会則参照)

会費納入(郵便局)振替番号 0 0 1 3 0 - 5 - 5 8 2 2 6 8 千代田学園同窓会 宛 詳細お問合せ等は事務局まで